

漁海況速報

No.21

平成18年6月2日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並だが昇温し、距岸15海里までは14~16℃が分布、より沖合では高くなり本県中部海域沖50海里付近に20℃台が分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊は平年より1℃低く、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(ホッキ)

- ・6月1日に解禁となりましたホッキの水揚げ状況をお知らせいたします。
- ・各地区ごとの水揚げ量は以下の表のとおりで、数量・単価が伸び悩んだ地区もありますが、磯部・原釜地区では昨年比2倍程度の水揚げがみられ、全体では昨年比120.8%の水揚げとなりました。

表 6月1日のホッキガイ水揚げ状況(金額は税込)

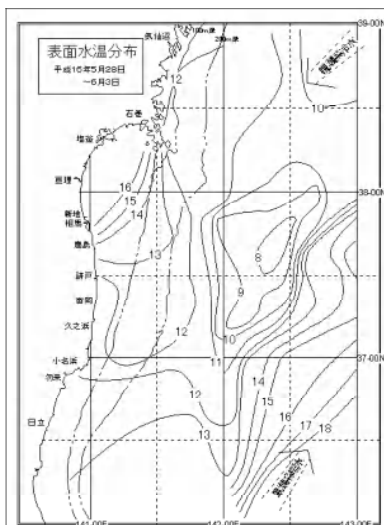
	平成18年			平成17年(四倉は6月2日)			昨年比		
	数量(kg)	金額(千円)	平均単価(円/kg)	数量(kg)	金額(千円)	平均単価(円/kg)	数量(kg)	金額(千円)	平均単価(円/kg)
沼之内	583	216	371	70※	21	294	—	—	126.2%
四倉	2,862	686	239	1,910	429	225	149.8%	159.9%	106.2%
久ノ浜	1,462	380	259	2,610	638	245	56.0%	59.6%	105.7%
請戸	333	147	442	549	261	475	60.7%	56.3%	93.1%
鹿島	332	90	274	322	124	387	103.1%	72.6%	70.8%
磯部	1,569	544	347	787	272	346	199.4%	200.0%	100.3%
相馬原釜	938	354	377	343	214	624	273.5%	165.4%	60.4%
合計	8,079	2,417		6,687	1,993		120.8%	121.3%	

※途中帰港

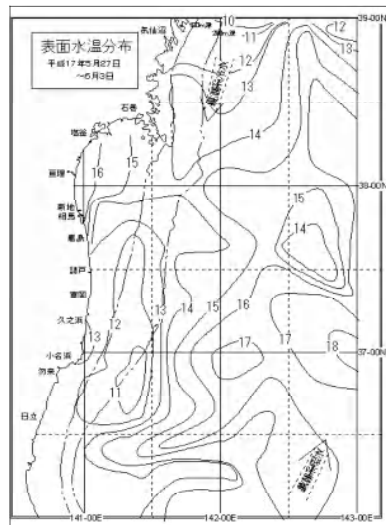
貝毒情報

平成18年5月15日に小名浜港(いわき市)で採捕した本県産ムラサキガイ(通称シュウリガイ)から、規制値(0.05MU/g未満)を超える下痢性貝毒(0.1MU/g)が検出され、平成18年5月19日から福島県下一円で採捕および出荷等が規制されました。

平成16年同期



平成17年同期



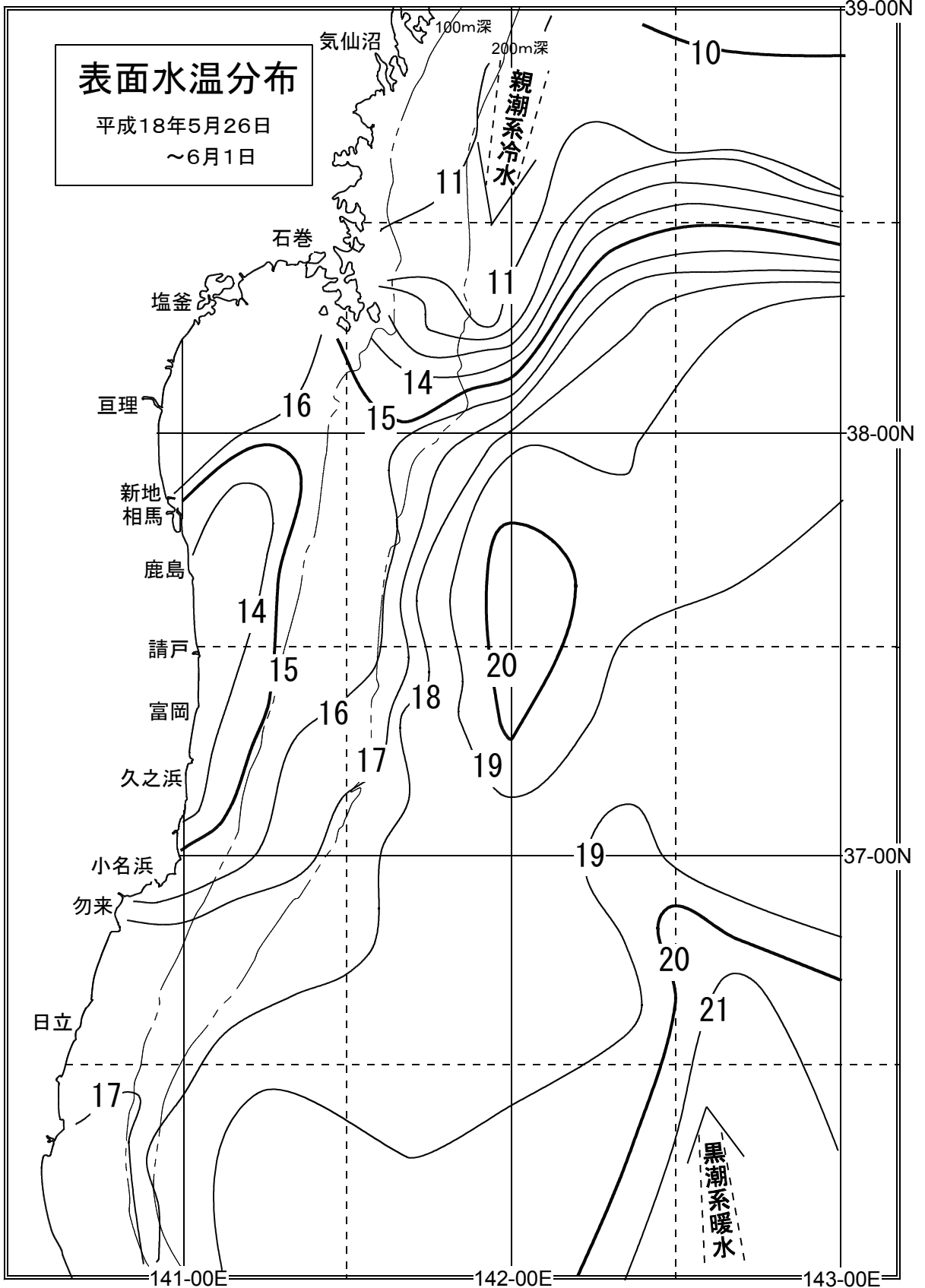
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/26	16.4	12.6	18.3	16.3
5/29	13.8	11.7	15.8	17.1
5/30	14.2	13.0	15.8	16.5
5/31	15.1	13.5	16.8	15.9
6/1	15.4	13.3	17.5	15.5

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成18年5月26日
~6月1日



漁海況速報

No.22

平成18年6月9日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の目立った波及はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並だが昇温し、距岸20海里までは16~17℃が分布、距岸50海里より沖合いには20℃台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より2℃高く、大熊は平年より1℃高く、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年6月海洋観測結果

- ・6月5~8日に本県調査船「いわき丸」にて行いました観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)

		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋埼	17.59	+2.89	+1.78
	富岡	18.27	+2.66	+3.09
	鵜ノ尾埼	17.66	+2.99	+2.84
	全体	17.84	+2.84	+2.57
100m深	塩屋埼	9.72	+2.93	+0.98
	富岡	11.92	+3.58	+3.19
	鵜ノ尾埼	9.93	+1.34	+2.14
	全体	10.51	+2.75	+2.01

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・先月に引き続き黒潮系暖水の波及が顕著で、親潮系冷水の目立った波及はみられませんでした。本県沖は広く平年よりやや高め~高めの水温が分布し、富岡・鵜ノ尾埼沖50海里付近では平年より極めて高めの水温がみられました。

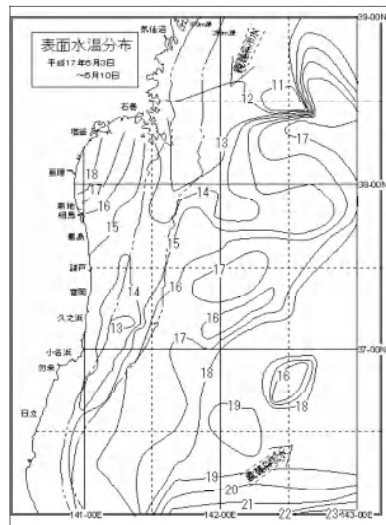
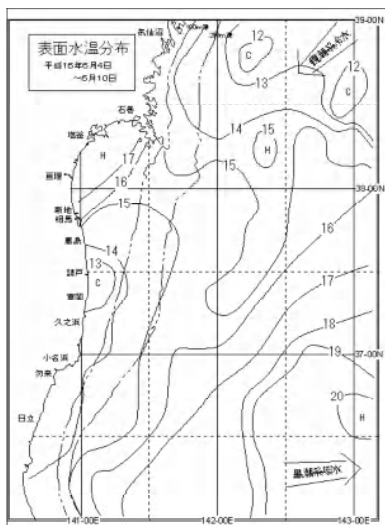
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/2	16.1	17.1	18.2	—
6/5	16.0	14.1	16.3	—
6/6	15.3	14.2	17.2	—
6/7	16.9	15.5	18.7	—
6/8	16.9	17.3	18.9	—

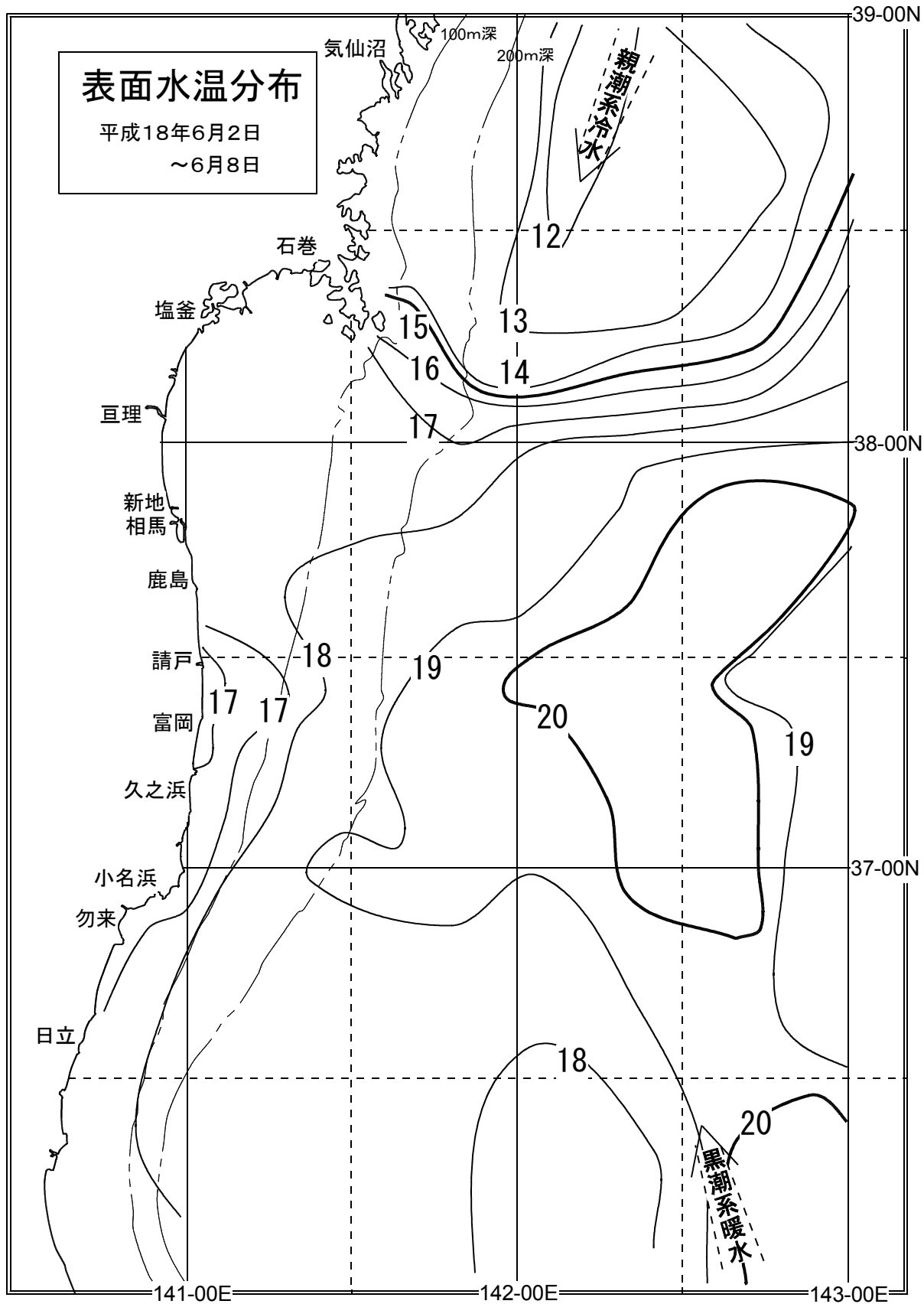
広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)



表面水温分布

平成18年6月2日

～6月8日



漁海況速報

No.23

平成18年6月16日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の目立った波及は見られない。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並み。距岸10海里付近までは16~17℃が分布、沖合では昇温し本県中南部海域20~70海里付近に20℃台が広く分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年より2℃高く、大熊・松川浦は平年より1℃高い。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年度東北海区海況予報 第2号

平成18年6月16日に独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所とりまとめにより発表されました標記予報をお知らせします。

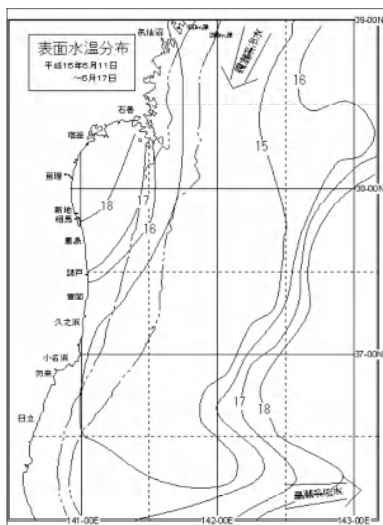
<<今後の見通し(2006年6月下旬~7月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、著しく南偏~かなり南偏(35°N~35°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並に推移する。
- (3)根室沖、三陸沖、常磐沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(38°30'N~39°Nまで)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°50'E付近まで)で推移する。

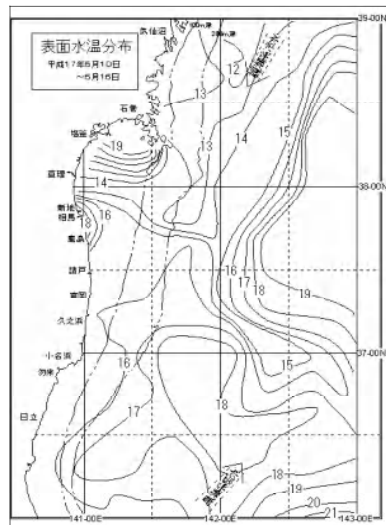
<<福島県沿岸の見通し>>

黒潮系暖水の波及傾向は期間後半に向けて弱まってゆくが継続し、水温は平年並み~やや高めで推移すると予想される。

平成16年同期



平成17年同期



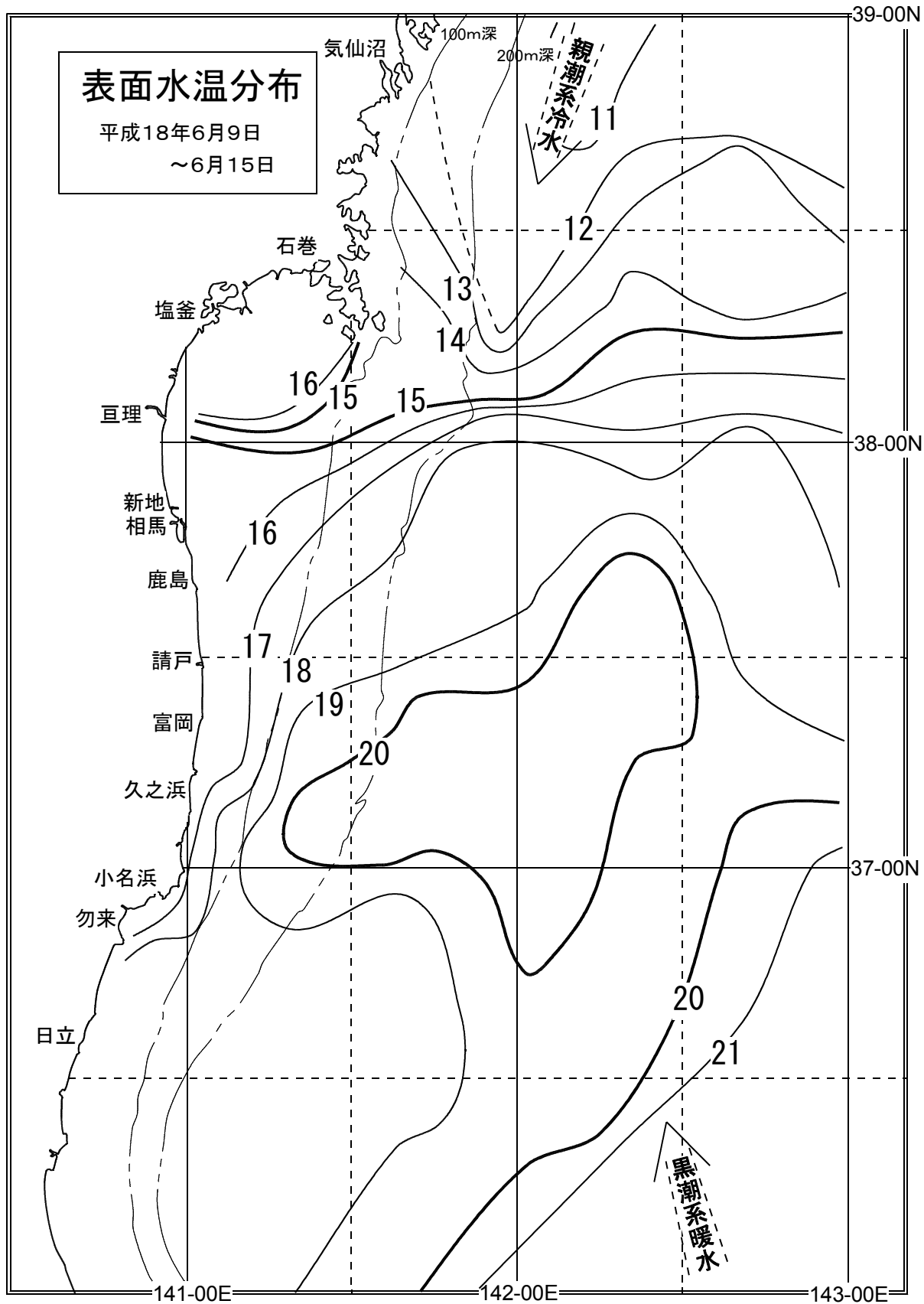
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/9	16.9	15.0	18.7	17.6
6/12	16.5	16.4	17.0	18.0
6/13	16.4	17.6	18.7	18.1
6/14	16.8	17.3	19.3	18.3
6/15	17.3	17.4	19.7	18.3

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成18年6月9日
~6月15日



漁海況速報

No.24

平成18年6月23日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の本県沖への目立った波及はみられない。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並みだが表面ではやや昇温し、本県沖距岸50海里までは18~19℃台が、それより沖合では20~21℃台が広く分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年より3℃高く、大熊・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年度カツオ長期来遊資源動向予測(6月~11月)

—平年並の水準で来遊し、秋には体長52cm前後の魚群が中心—

・平成18年6月20日に水産庁から発表されました常磐・三陸沖における6月~11月のカツオの来遊動向をお知らせいたします。

(1)来遊資源量

来遊資源量は、4月中旬から5月下旬における近海竿釣り漁の銘柄小(2.5kg)以下の魚のCPUE(1日1隻あたり漁獲量)が平年並か平年をやや上回ったものの、伊豆諸島~房総近海の曳縄の漁況は平年を下回ったことなどから、本年の来遊水準は平年並となろう。

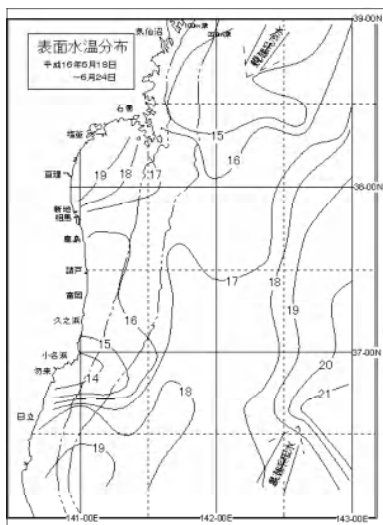
(2)主分布域

6月上旬現在、黒潮系暖水の北限は、144°Eで38°20'N, 147°10'Eで39°30'N以北にそれぞれ張り出しているため、6月~8月(北上期)には、常磐・三陸東沖合36°N~41°N, 144°E~150°E(福島県塩屋崎~岩手県黒崎の250~1,000キロ沖)に分布すると考えられる。その後、黒潮系暖水の北への張り出しとともに、145°E以西の沿岸側海域にもカツオ魚群が来遊し、9月~11月(南下期)には、37°N~41°N, 142°E~147°E(福島県塩屋崎~岩手県黒崎の100~450キロ沖)を中心とする海域に分布すると考えられる。

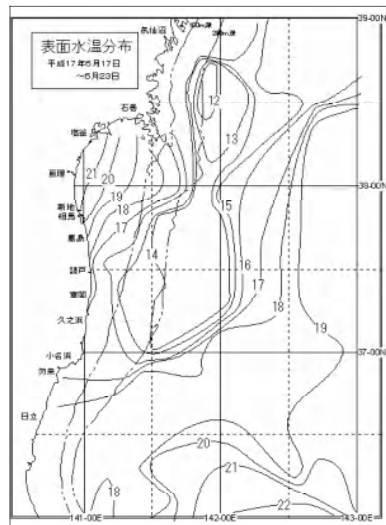
(3)魚体

6月上旬現在、体長45cm・体重1.8kg前後の魚群が来遊資源の中心となっており、過去の体長組成の季節的な推移から、南下する秋には体長52cm・体重3kgを超えると考えられる。

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(℃)

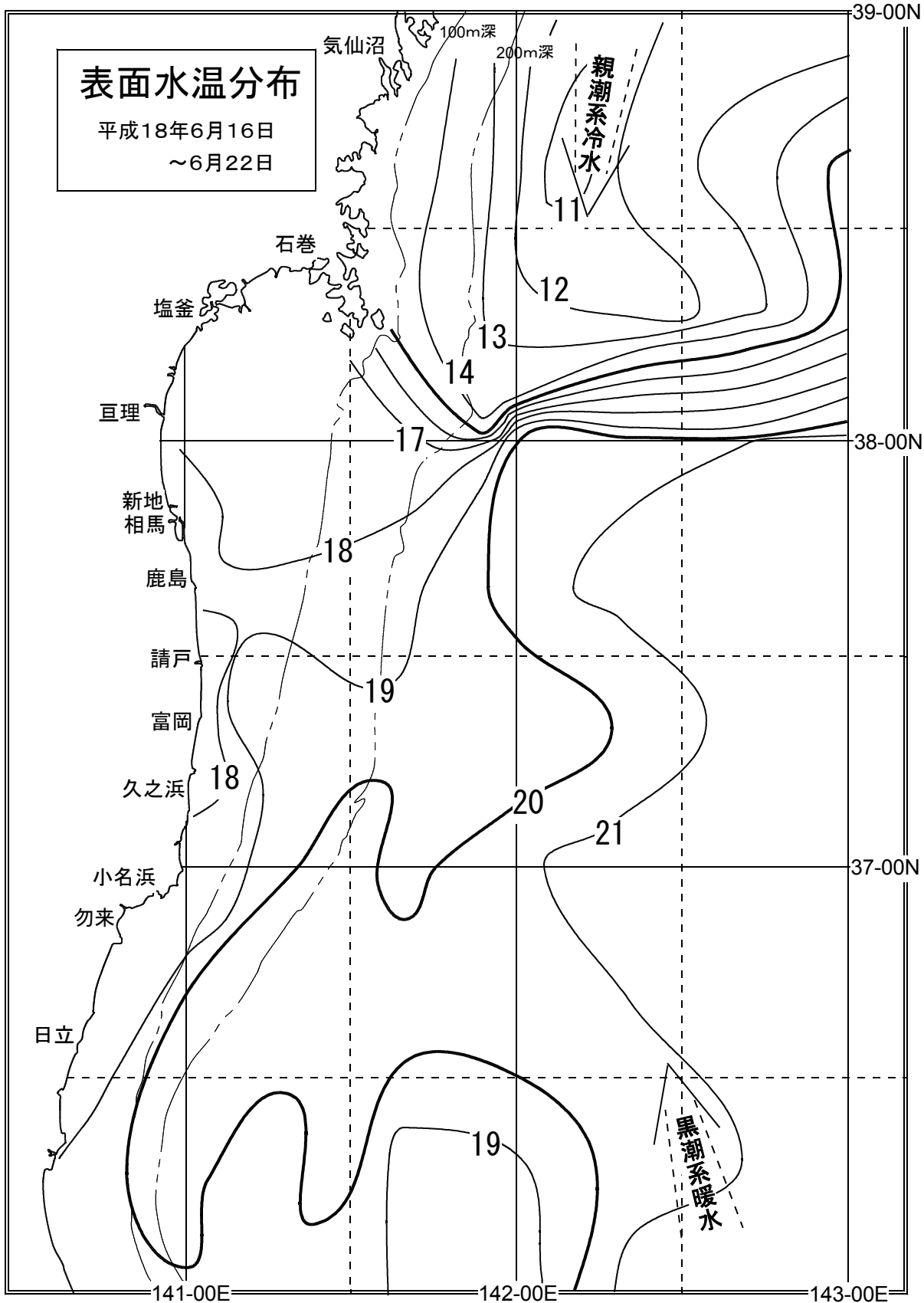
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/16	17.9	14.7	17.8	18.6
6/19	17.8	15.9	17.9	19.2
6/20	18.2	16.8	19.3	18.8
6/21	18.6	17.1	18.9	18.9
6/22	19.0	16.0	20.5	18.9

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成18年6月16日

～6月22日



漁海況速報

No.25

平成18年6月30日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の本県沖への目立った波及はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週並みだが本県南部海域では昇温し、灘側では18℃台で沖に向かうにつれ高くなり、約40海里沖より沖合では23℃台が分布している。

③定地水温は、小名浜・松川浦で平年より3℃高く、大熊は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(ホッキ貝)

・6月28日までのホッキ貝の水揚げ状況は以下の表のとおりでした。

		数量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)
平成18年	いわき	61,768	16,710	271
	相双	61,759	21,287	345
	合計	123,527	37,997	308
平成17年	いわき	75,880	19,101	252
	相双	49,134	23,426	477
	合計	125,014	42,527	340
昨年比	いわき	81.4%	87.5%	107.5%
	相双	125.7%	90.9%	72.3%
	合計	98.8%	89.3%	90.4%

・昨年と比較すると、いわき地区では水揚げ数量は81.4%と少なく、相双地区では125.7%と多くなっております。
単価はいわき地区は昨年並ですが、相双地区は平成15年生まれの若い貝が新たに漁獲対象となり、小型の貝が多かったため、昨年比72.3%と低くなりました。

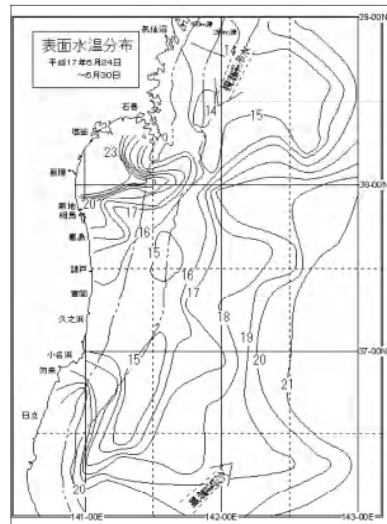
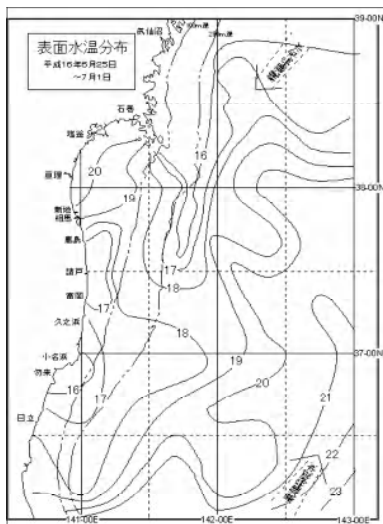
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(℃)

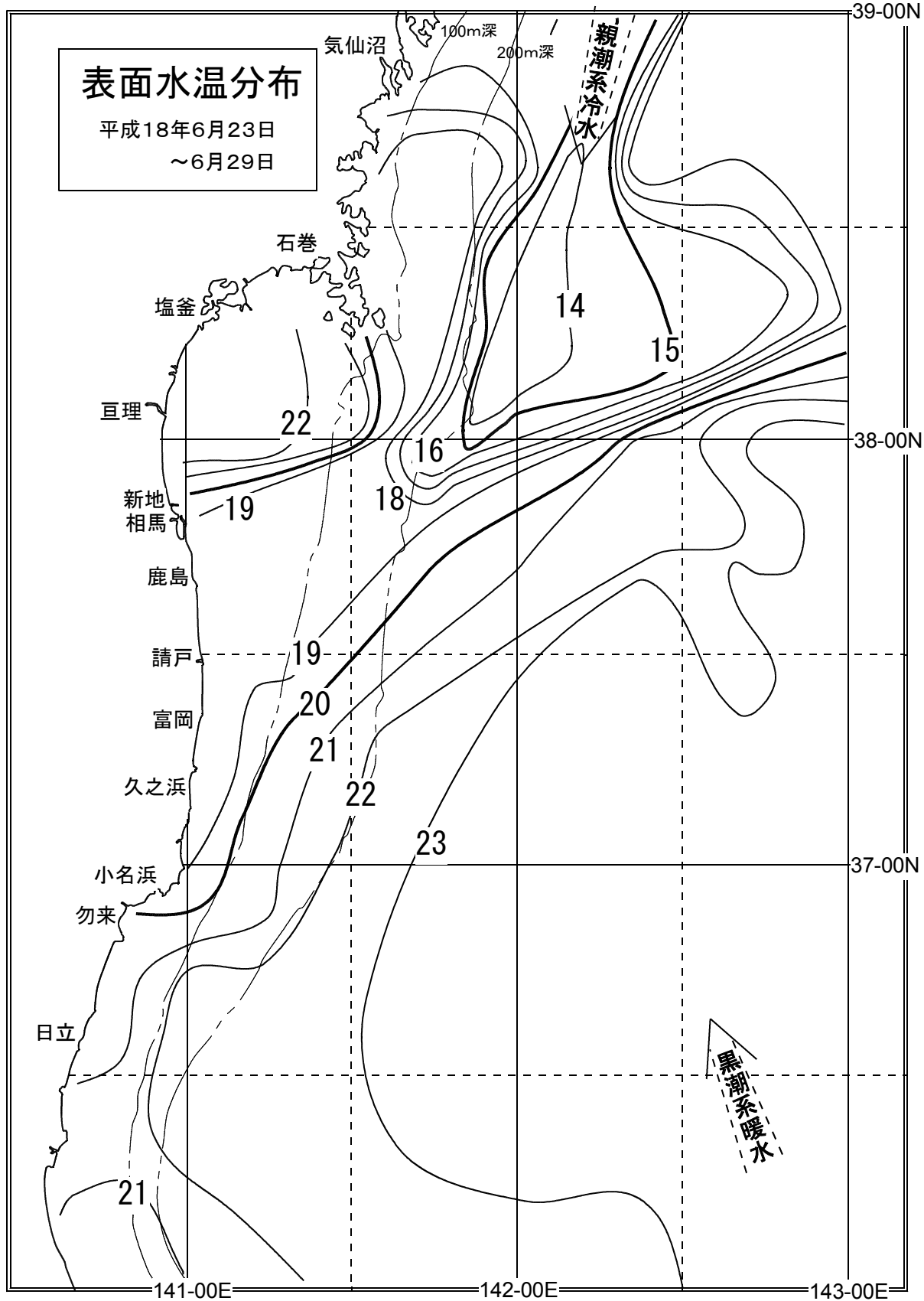
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/23	18.9	16.7	21.9	18.7
6/26	19.3	19.0	20.0	19.7
6/27	20.2	17.5	21.4	19.8
6/28	20.3	17.9	21.5	18.7
6/29	20.7	17.3	21.5	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)



表面水温分布

平成18年6月23日
~6月29日



漁海況速報

No.26

平成18年7月7日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の波及が相馬沖にみられ、相馬沖距岸30~60海里付近に14℃台が分布している。

②黒潮系暖水の勢力は先週並で、本県中南部海域沖20海里までは18~19℃が分布、より沖合には20~24℃台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より2℃高く、大熊・松川浦は平年より1℃高い。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年7月海洋観測結果

・7月3~6日に本県調査船「いわき丸」にて行いました観測結果をお知らせします。
・観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

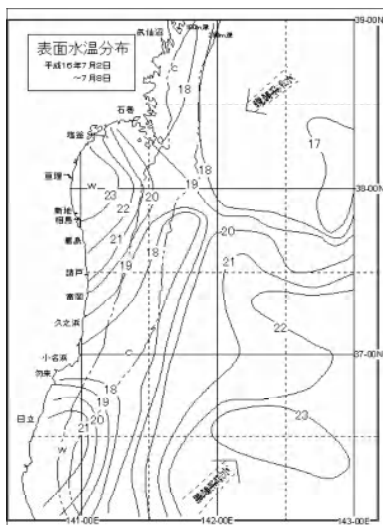
(単位:℃)

		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	21.00	+3.90	+2.34
	富岡	20.63	+2.49	+2.15
	鵜ノ尾	16.66	-1.77	-1.86
	全体	19.43	+1.54	+0.87
100m深	塩屋	11.95	+5.41	+2.47
	富岡	11.18	+5.92	+2.00
	鵜ノ尾	8.88	-0.59	-0.73
	全体	10.93	+4.08	+1.51

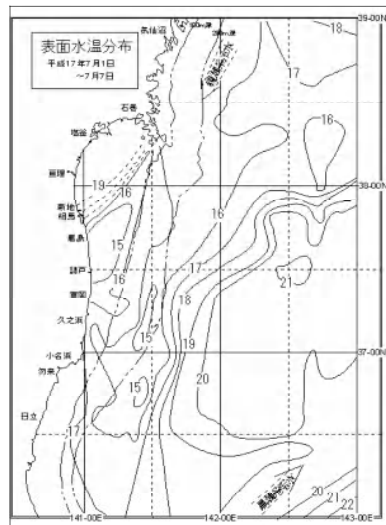
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・本県中南部海域では黒潮系暖水の波及が先月に引き続き顕著で、塩屋埼沖距岸30~50海里、富岡沖50海里付近では平年より極めて高めの水温がみられました。鵜ノ尾沖では表面付近に親潮由来とみられる比較的低温・低塩分の水塊が分布しておりましたが、水温は全体では平年よりやや高めでした。

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(℃)

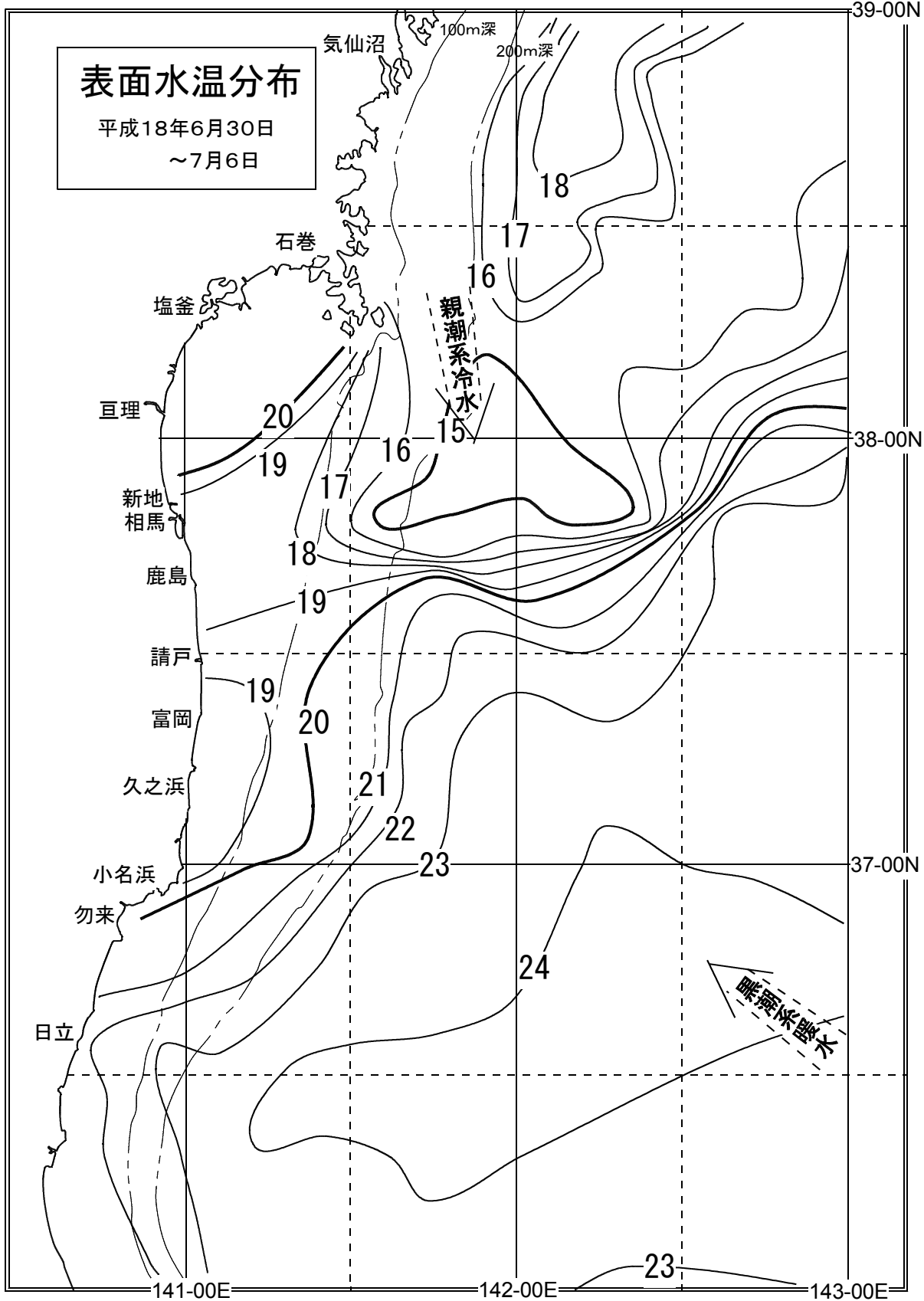
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/30	20.5	17.9	20.9	18.1
7/3	19.6	18.6	20.9	19.5
7/4	19.9	18.2	20.9	18.5
7/5	19.6	19.2	20.1	18.6
7/6	19.2	18.8	21.0	17.8

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年6月30日

~7月6日



漁海況速報

No.27

平成18年7月14日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①本県中北部海域の距岸40海里付近を中心に弱い親潮系冷水の波及がみられる。

②黒潮系暖水の勢力は先週並で、本県中南部海域沖25海里までは19~20℃が分布、より沖合には22~23℃台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜・松川浦は平年より2℃高く、大熊・は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

ーほしがれいの放流についてー

平成18年6月13日と7月4日に人工種苗ほしがれいを放流しました。

6月13日 相馬市松川浦及び、南相馬市真野川河口
各約2,500尾、全長約8cm

7月4日 相馬市松川浦及び、南相馬市真野川河口
各約5,800尾、全長約8cm

7月下旬以降、いわき市四倉地先に全長8cm種苗を放流する予定です。

今後、放流魚がどのような場所で生活し成長していくのかを調査し、どのような放流方法が生き残りがよいのかを検討します。

また、漁協魚市場で、ほしがれい放流魚の回収尾数を調べ、回収率や移動の状況を解明し、ひらめのように放流事業を行えるかを検討します。

餌料びきやシラスびき等で、小さなほしがれいが獲れたときは、水産試験場相馬支場 または 水産試験場栽培漁業部までご連絡くださるようお願いします。

連絡先:

福島県水産試験場 相馬支場 電話 0244-38-8042

栽培漁業部 電話 0246-54-3153

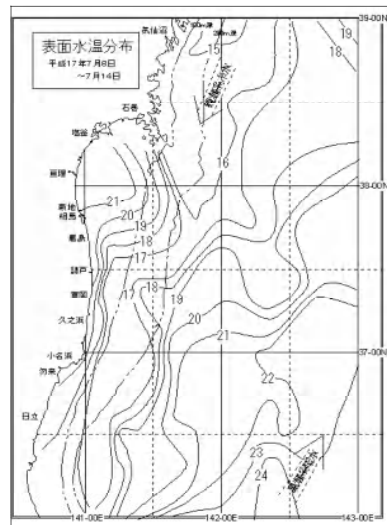
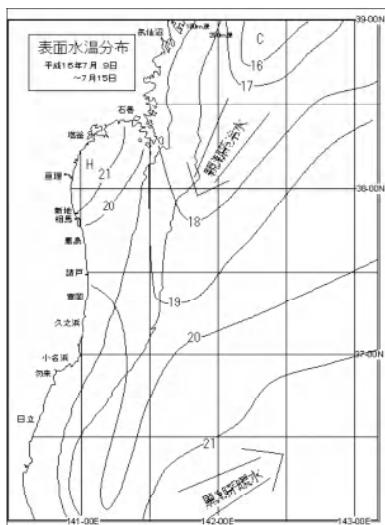
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(℃)

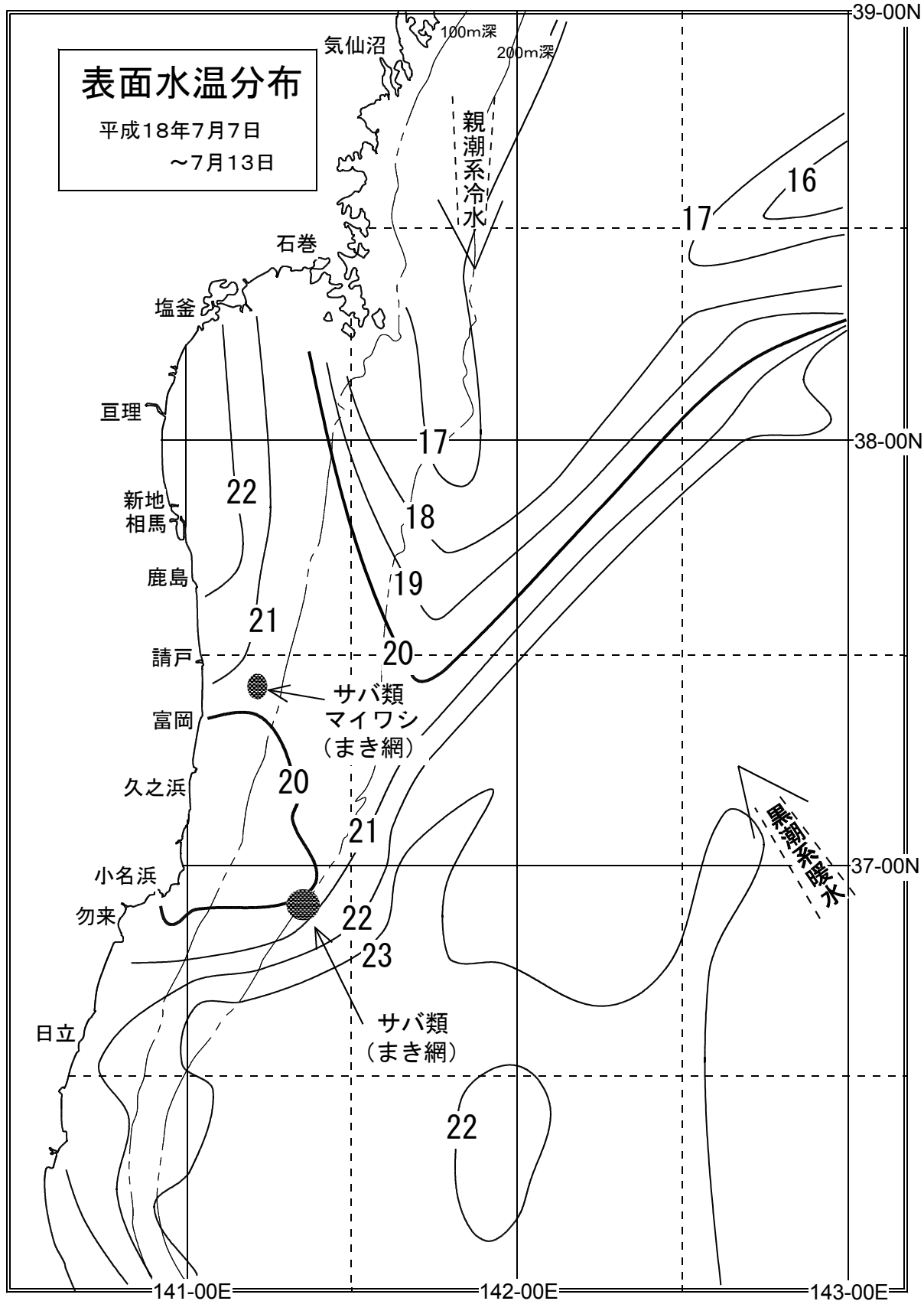
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/7	19.0	19.5	21.3	—
7/10	20.2	18.0	21.3	—
7/11	20.1	18.5	22.6	—
7/12	19.9	19.5	22.9	—
7/13	19.6	18.0	22.4	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



表面水温分布

平成18年7月7日
~7月13日



漁海況速報

No.28

平成18年7月21日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①本県中北部海域の距岸50海里より灘側に広く親潮系冷水の波及がみられ、17℃台が分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週並で、本県中南部海域沖25海里までは19～20℃が分布、より沖合には22～23℃台が広く分布している。
- ③定地水温は、小名浜・大熊は平年並み、松川浦は平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・本県北部海域の表面では弱い親潮系冷水の波及がみられるでしょう。

漁獲情報(底びき網)(速報値、H17年9月～H18年6月)

・6月で底びき網漁期が終了しましたが、今期の総漁獲量は約9,800トン、金額は約39億円で、前期に比べ漁獲量は100%、金額は104%でした。水揚げ金額上位の魚種別の水揚げ量と金額は下表のとおりです。

表 底びき網漁の魚種別水揚げ量・金額

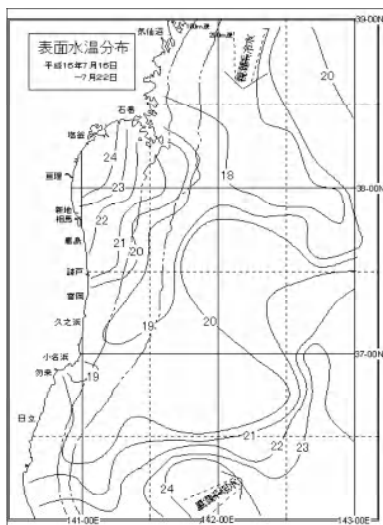
順位	種名	漁獲金額 (億円)	今期水揚げ (トン)	前期水揚げ (トン)	対前期比 (%)
1	ヤナギダコ	5.2	1,766	2,143	82.4%
2	マダラ	3.4	1,476	1,408	104.8%
3	ババガレイ	2.5	292	235	124.3%
4	マアナゴ	2.2	277	376	73.6%
5	ヒラメ	2.1	190	139	136.9%

・漁獲金額を魚種別に見ると、1位ヤナギダコ(5.2億円)、2位マダラ(3.4億円)は前期同様でした。3位は前期のマガレイに変わりババガレイ(ナメタガレイ)(2.5億円)となりました。

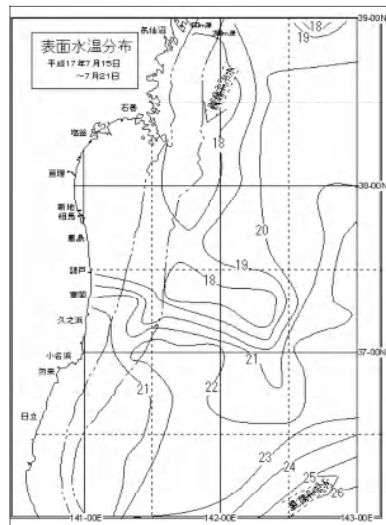
・今期の水揚げ量は、前期に比べてヤナギダコが380トン、マアナゴが100トン減少したものの、ヒイカ、イシガレイが大きく増加したことなどにより前年並みとなりました。

・漁獲金額は、マガレイで大きく減少しましたが、ヤナギダコ、マアナゴの単価が上がったこと、ヒイカ、イシガレイ、ヒラメなどが大きく増加したことにより、前年を上回りました。

平成16年同期



平成17年同期



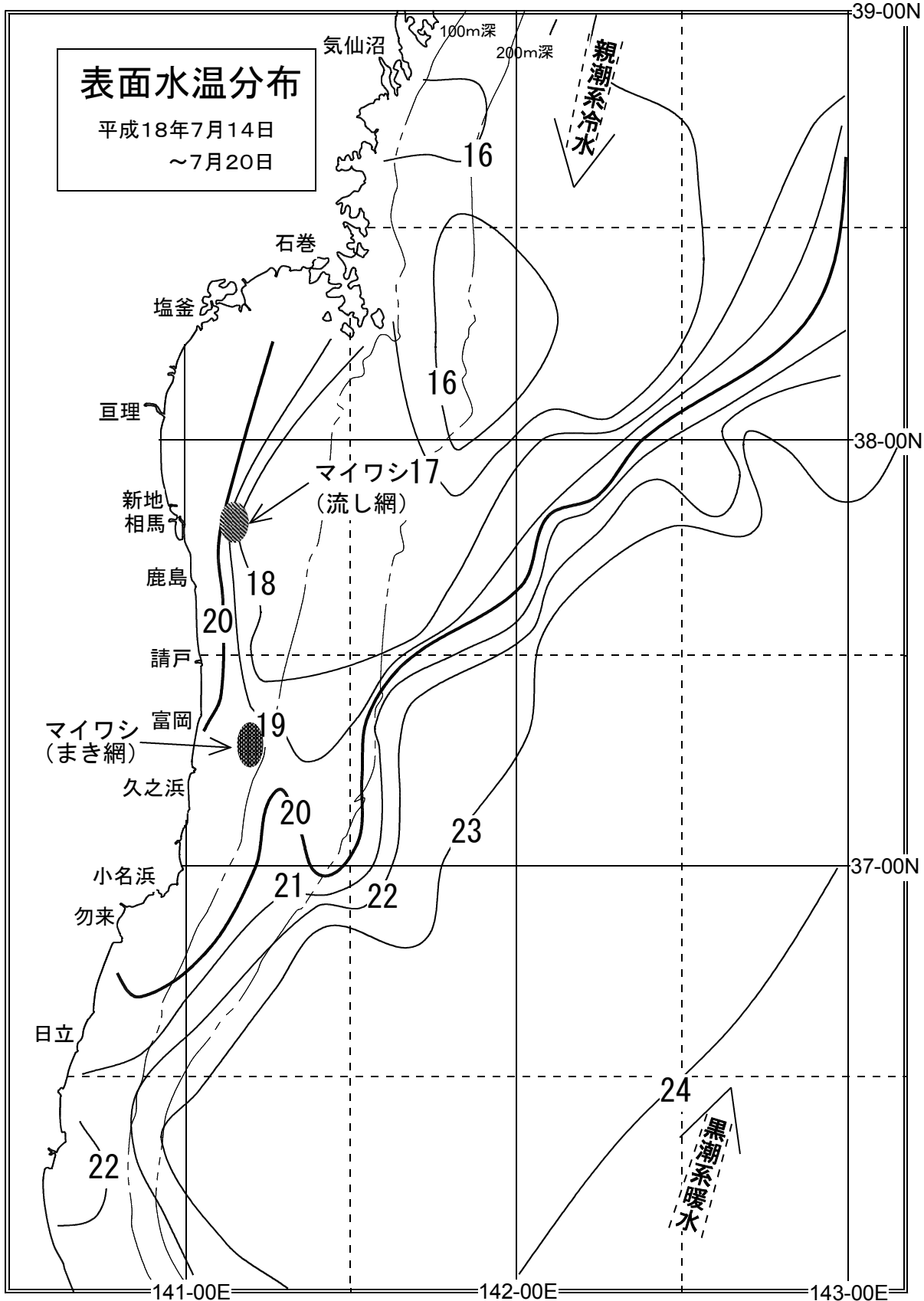
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/14	18.8	17.7	21.6	—
7/17	19.1	—	—	—
7/18	18.6	19.1	20.2	—
7/19	18.3	19.5	19.9	—
7/20	18.3	20.7	19.9	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成18年7月14日
~7月20日



漁海況速報

No.29

平成18年7月28日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ① 本県沖の距岸20~30海里を中心に親潮系冷水の波及がみられ、久ノ浜・富岡沖20~25海里付近には18℃台が分布している。
- ② 黒潮系暖水の波及は本県沖30~40海里より沖合にみられ、23~24℃台が広く分布している。
- ③ 定地水温は、小名浜・大熊は平年より1℃高く、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・ 表面では弱い親潮系冷水の波及がみられるでしょう。

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/21	19.5	20.7	19.8	16.9
7/24	19.9	21.8	21.6	16.4
7/25	20.5	21.2	21.7	16.2
7/26	20.8	20.6	23.1	15.0
7/27	20.6	20.3	23.4	15.3

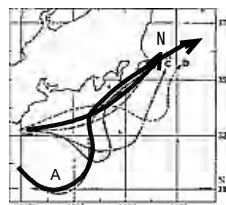
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成18年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報

・ 7月27日、水産庁より発表されました標記予報の本県関係分についてお知らせします。(対象期間: 2006年8月~12月)

漁況の見通し

- (1) 潮岬以東の黒潮
 - ・ 9月までN型流路で推移する。10月以降にA型流路へ移行する。
 - ・ 野島崎沖の黒潮流軸は、期間を通して接岸傾向で推移する。
- (2) 鹿島灘~常磐南部海域の海況
 - ・ 房総沖の黒潮の離接岸変動に伴って黒潮系暖水が沖合から一時的に波及することがある。



漁況の見通し(房総~道東(まき網、定置網))

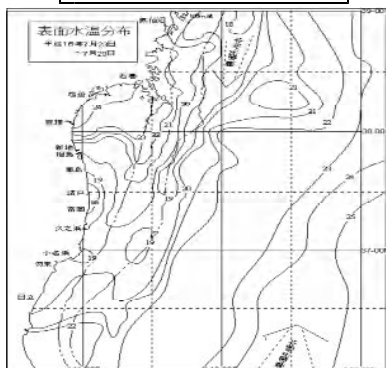
カタクチイワシ (1) 来遊量: 前年を上回る。黒潮流型の分類図 川合英夫(1972)
 (2) 漁期・漁場: 1そうまき漁場は11月下旬~12月に三陸南部から順次常磐北部、常磐南部、鹿島灘、犬吠埼周辺に形成される。道東のまき網は9~10月。仙台湾~三陸の定置網は全期間。常磐の小あぐり・房総沿岸の2そうまきは全期間。

マイワシ (1) 来遊量: 漁獲の主体となる1歳魚は低調であった前年を上回る。2歳魚はほとんど漁獲されない。年末の0歳魚はカタクチイワシへの混獲程度。
 (2) 漁期・漁場: 8~9月は房総~鹿島灘と常磐北部~三陸南部。10~11月は三陸南部~常磐南部。11月からは常磐以南が中心となる。12月以降0歳魚が来遊し、犬吠埼周辺でカタクチイワシに混獲される。仙台湾~三陸南部の定置網並びに道東海域への来遊は低調。

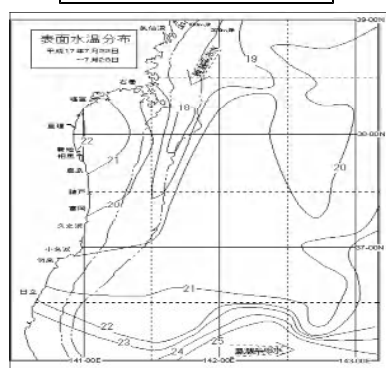
サバ類 (1) 来遊量: マサバ0歳魚は前年並の低水準。1歳魚は前年を大きく下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳以上は少ない。マサバとしては前年を下回る。ゴマサバ0歳魚は前年同様に少ない。1歳魚は前年を大きく下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳以上は少ない。ゴマサバとしては前年を下回る。サバ類全体として前年を下回る。

(2) 漁期・漁場: 定置網は期を通じて漁獲される。まき網は、8月に三陸北部海域で初漁があり、8月下旬には道東海域でも漁場が形成される。9月には三陸北部海域で本格化し、金華山周辺にも漁場が形成される。10月には三陸~常磐海域に漁場が広がる。11月は三陸~犬吠海域となるが、主漁場は常磐以南である。12月には常磐~犬吠海域に漁場が形成され、犬吠海域が主漁場となる。

平成16年同期

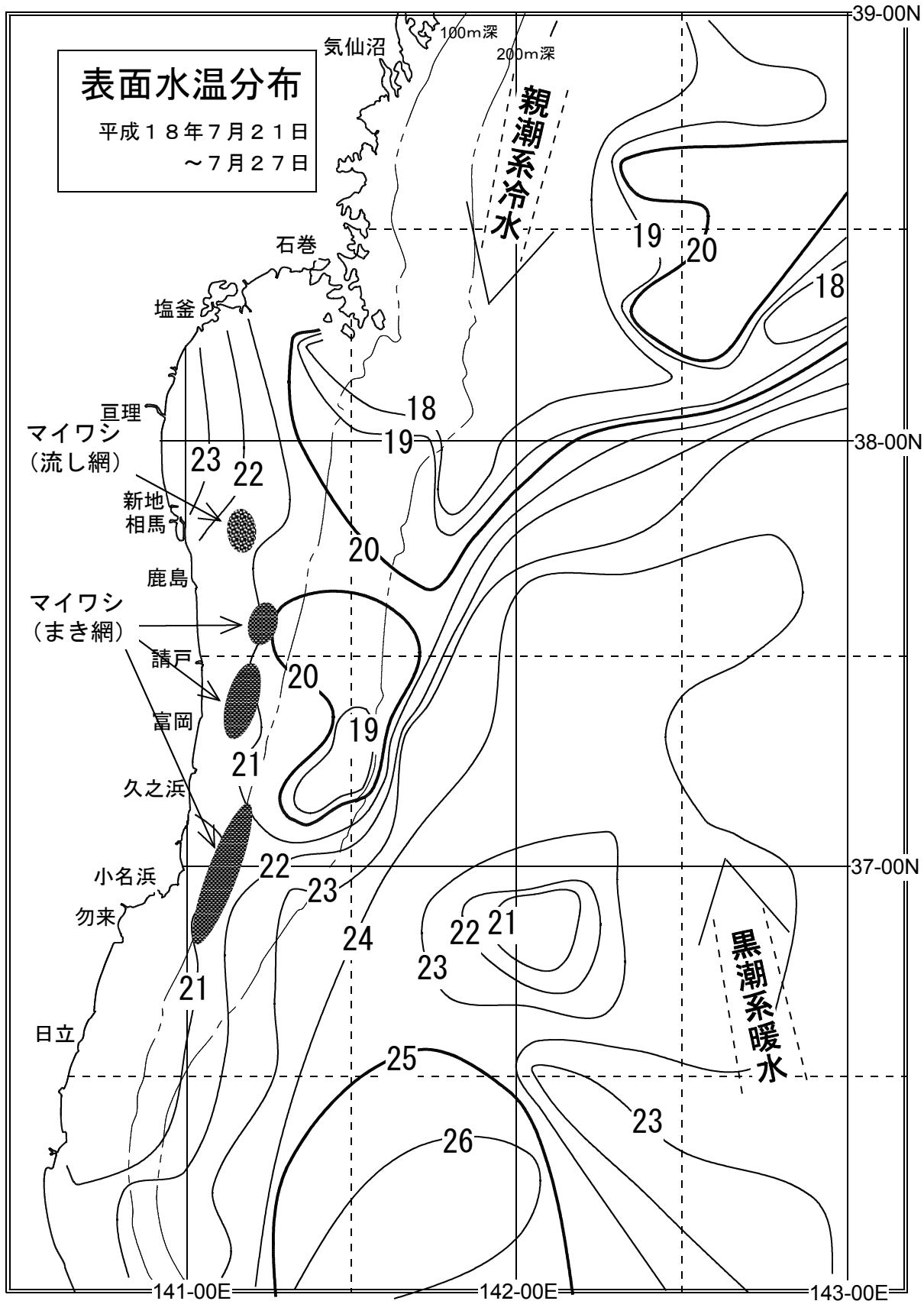


平成17年同期



表面水温分布

平成18年7月21日
~7月27日



漁海況速報

No.30

平成18年8月4日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ① 本県中北部海域の距岸50海里付近から灘側に親潮系冷水の波及がみられ、18~19℃台が分布している。
- ② 黒潮系暖水の勢力は先週並で、本県中南部海域沖15海里までは19~21℃が分布、より沖合には22~23℃台が広く分布している。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊は平年並み、松川浦は平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・ 表面では弱い親潮系冷水の波及がみられるでしょう。

平成18年8月海洋観測結果

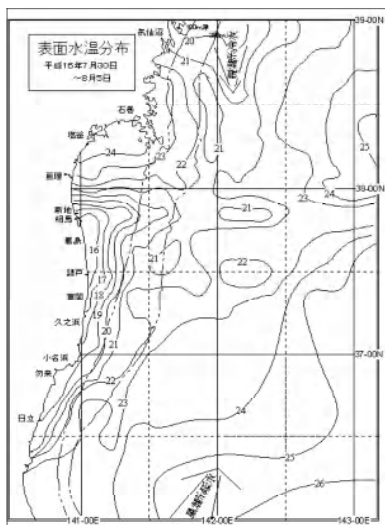
- ・ 8月1~4日に本県調査船「いわき丸」にて行いました観測結果をお知らせします。
- ・ 観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	21.67	+0.10	-0.57
	富岡	20.99	+0.24	-1.11
	鵜ノ尾	21.53	-0.19	-0.53
	全体	21.40	+0.05	-0.74
100m深	塩屋	13.11	+2.76	+3.05
	富岡	10.23	+2.17	+0.69
	鵜ノ尾	11.30	+0.83	+1.59
	全体	11.70	+2.08	+1.90

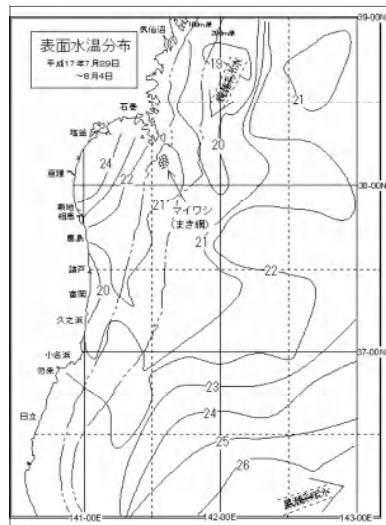
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- ・ 先月に引き続き、本県南部海域沖合を中心に黒潮系暖水の波及が顕著にみられますが、本県中北部海域の表面から50m深付近までには、親潮由来とみられる比較的低塩分な水塊が広く分布しておりました。水温は100m深では平年よりやや高め~高めですが、表面付近ではやや低め~平年並みでした。

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/28	21.3	19.0	21.7	17.0
7/31	20.0	20.2	21.5	18.5
8/1	20.2	21.5	21.3	18.5
8/2	20.3	21.6	21.8	18.6
8/3	21.7	20.6	22.1	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年7月28日
~8月 3日

